

のりものが主人公の楽しいおはなしも、たくさんあります。乗ってみたいな、きかんしゃ、じよせつしゃ、しょうぼうしゃ。

はたらきもののじよせつしゃけいていー

ばーじにあ・リー・ばーとん／ぶん・え
いしいももこ／やく 福音館書店

けいていーは、キャタピラのついて
いる赤いりっぱなトラクターです。

ある日、町に大雪が降り、どの車も
動けなくなりました。そこで、けいて
いーが、たくさんの雪をかたづけるこ
とになりました。町をもとどおりにするため、けいていーが大
奮闘します。



きかんしゃ やえもん

阿川弘之／文 岡部冬彦／絵 岩波書店

長い間はたらき、年をとったきかんしゃのやえもん。
はきだした「火の粉」で田んぼの火事をおこしてしま
い、とうとう壊されることになりました。やえもんは、
このままクズ鉄にされてしまうのでしょうか。



ちいさいしょうぼうじどうしゃ

ロイス・レンスキー／文・絵
わたなべしげお／訳 福音館書店

いたずらきかんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン／文・絵
むらおかはなこ／訳
福音館書店



絵本と楽しくつきあうコツ③

子どもが、のりものの本ばかり選びます

のりもの絵本には、写真絵本や図鑑、のりものが登場するおはなし絵本など、多彩な絵本がそろっています。のりもの絵本の好きな子は、のりものを軸にいろいろな絵本を楽しんでいるので、まずは子どもの「読みたい!」という気持ちをかなえてあげてください。

それでも更に、別のジャンルの本に出会ってほしいときには、「この本いいね、一緒に読もうか。」などと、誘ってみてはいかがでしょうか。最初は、「食わず（読まず）ぎらい」をされてしまうかもしれませんが、でもどの子も、いつまでものりもの絵本ばかりが好きなのではないようです。そのうち様々な絵本を楽しむようになると思います。

ところで、のりもの絵本とは、読むだけにとどまらず、出てきた車や電車を見たり乗ったりして、子どもの体験を広げることができるテーマです。時には一緒に、とことんのりもの絵本の世界につかってみるのもいいかもしれませんね。